



発行所 龍岡市公民館
 編集人 龍岡市公民館広報委員会
 印刷所 龍岡印刷株式会社
 龍岡市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,760人
 男子 3,332人
 女子 3,428人
 世帯数 2,090戸
 (14年5月末現在)

心豊かな地域づくりをめざして 知りあって触れあって学びあおう 公民館委員総会



四月二十六日、公民館委員総会が開催されました。今年度の基本方針、活動方針、事業計画、予算が承認され、今年度がスタートしました。会議に先立ち、社会教育功労者表彰が行われました。

公民館長
木下 陸 奥

新公民館は、一か年が経過して、周囲の樹木も新緑の芽を吹き、グループの方々が丹念に手入れをしていた花壇に色とりどりの花が咲き、すっかり落ち着いた環境になってまいりました。平成十四年度の公民館事業が、委員総会で計画が承認され、力強い発足ができたことは喜びであります。委員会の皆さんが一番今年度力を入れていきたいことは、地域の方々が諸事業により多く参加して下さるということにあります。

例えば、文化部の市民大講講座は、二十四年の伝統があり、地域を勉強するの非常に価値あるものであります。昨年は三〇人ぐらゐの参加のときもあって、折角の良いことも、これでは勿体ない。それは、その事業についてのPRが足りないし、多くの方々に集ってもらえる努力も不足していたような気がします。それは、他の事業でも言えることです。参加して多くのの人々を知り、新しい楽しさを体験できます。今年度は、公民館の諸事業に多くの方が参加して下さるよう内容に良くしていくこと、PRに努力して、昨年より参加者が多い、活発な公民館活動になるよう一同頑張っていきたいと思います。ご協力ください。

文化委員長
塩沢 正 憲

本年度竜丘公民館の文化委員長としてお世話になります。長野原の塩沢です。公民館が新築されました。あらゆる分野の活動の拠点として利用されています。私は文化委員として様々な事業に参加させて頂きました。文化祭、アフィニスのごつろぎコンサート、成人式等何をするにしてもすべてが新しい場所の事であります。

体育委員長
松枝 彰 人

「スポーツを通じて、地域住民の親睦交流を図り、活力ある地域づくりにつなげる」を活動方針に、事業を企画しました。本年度の新しい事業として、ドッジビー講習会を七月に計画します。ドッジビーは、今年度Cブロックで採用されたニュースポーツで、ボールの代わりにスポンジ状のソフトディスクを使つたドッジボールです。市民運動会については、皆さんが気軽に、楽しく参加できる様、種目等の見直しを行うつもりです。多くの皆さんが積極的に参加して盛り上げてくださるようお願いいたします。

民俗資料保存委員長
牧内 利 郎

前年度に引き続き委員長を担うことになりました。皆様のご協力を仰ぎながら竜丘地域に多くある、石造文化財のまとめを完成させたいと考えております。

地域の開発が進められてくると、今まで昔から所在していた石造が何処かに追いやられ、姿形が見当らなくなってしまう。そのため原形と所在を把握し、調査し、正確な台帳を作成します。これを今年度事業の最重要項目として取り上げてまいります。他に、公民館展示ブースへ資料館にある物を、順次公開してまいります。

広報委員長
中田 信 和

昭和二十三年(一九四八年)三月に、第一号を発刊しました。館報は、昨年度まで二百五十六号を数えました。その時代の、公民館活動の話題や課題を伝えてきました。昨年度は、世紀をまたいだの一大事業であった新公民館の建設、竣工を伝えてきました。公民館の現況を地域に伝達するとともに、地域や生活の話題を盛り込むなどして、読みやすく親しまれるような紙面づくりに努めてまいります。発行は、年五回発行を計画しています。皆さんの、身近な話題を広報委員までお寄せ下さい。

平成14年度 竜丘公民館委員名簿

館長 木下 陸 奥

委員 長	和浩子 男志彦 子昭俊 至吾子 洋郎 司惠人 毅一 美子 巳子 子子 夫雄
委員 副 長	田藤村 平平 瓜 田平沢 島村内 平澤 島村田 下村 井村 村平
委員	中齊 今下 塚橋 原増 下塩 林 中牧 下塩 林 関今 山木 今林 河今 今下
委員 長	和浩子 男志彦 子昭俊 至吾子 洋郎 司惠人 毅一 美子 巳子 子子 夫雄
委員 副 長	田藤村 平平 瓜 田平沢 島村内 平澤 島村田 下村 井村 村平
委員	中齊 今下 塚橋 原増 下塩 林 中牧 下塩 林 関今 山木 今林 河今 今下

委員 長	人 和格 子 雄 勉 哲 敏 幸 志 司 崇 寿 久 友 信 幸 彦 行 一
委員 副 長	彰 英 照 久 春 相 英 比 呂 秀 喜 運 雅 友 美 雅 洋
委員	枝村 川 田 澤 敷 田 小 曾 田 林 木 澤 平 木 平 本 水 東
委員 長	松西 鈴 原 塩 久 保 田 南 木 曾 田 林 木 澤 平 木 平 本 水 東
委員 副 長	松西 鈴 原 塩 久 保 田 南 木 曾 田 林 木 澤 平 木 平 本 水 東
委員	松西 鈴 原 塩 久 保 田 南 木 曾 田 林 木 澤 平 木 平 本 水 東

○印：体育指導員

委員 長	義泉 雄 次 人 巳 明 聖 和 志 秋 憲 隆 男 美 年 樹 彦 佑 夫 治 晃 幸 彦 直
委員 副 長	岩 俊 誠 辰 文 正 廣 豊 正 広 恒 日 幸 幾 秀 保 明 一 惠 裕 武 正
委員	田林 田 平 村 本 井 林 原 村 澤 原 平 田 柳 本 沢 林 澤 平 内 平 東
委員 長	田林 田 平 村 本 井 林 原 村 澤 原 平 田 柳 本 沢 林 澤 平 内 平 東
委員 副 長	田林 田 平 村 本 井 林 原 村 澤 原 平 田 柳 本 沢 林 澤 平 内 平 東
委員	田林 田 平 村 本 井 林 原 村 澤 原 平 田 柳 本 沢 林 澤 平 内 平 東

正・副分館長	時 野 原 上 川 路
分館主事	時 野 原 上 川 路
文化委員会	時 野 原 上 川 路
文化協力員	時 野 原 上 川 路

伊藤 安正さん(時又) 運営審議委員 平成七年〜十三年 通算七年	山田 勝さん(時又) 民俗資料保存委員 平成六年〜十三年 通算八年	前沢喜代美さん(長野原) 運営審議委員 平成七年〜十三年 通算七年	久保田文男さん(上川路) 体育委員 平成十年〜十三年 通算四年	砂場 幹雄さん 竜丘公民館主事 平成十年〜十三年 通算四年
----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-------------------------------

サッカーのワールドカップが、史上初の日本・韓国共同開催で開会式を迎えた。鮮やかな緑の芝の競技場に「日の丸」と韓国旗の「大旗」が並んで揺れた。両国は、過去の歴史を乗り越え、思惑の違いを越え、日韓が真の意味での共催を成し遂げられるのかどうか、本番の一か月間とW杯後がその鍵を握っている。開会式では、「日韓が韓日か」などの問題、常に受け身の日本側、足並みは必ずしも一致していないなど、思い考えることも多かった。ところが、いざ試合が始まると、各国のプレー、世界最高の舞台で活躍する日本チームの姿を見ているうちに、当初の問題などすっかり忘れ、応援に力が入っていた。共催国というよしみもあって、韓国の試合も応援する事ができた。スポーツはやはりすばらしい。ワールドカップといえど、各国のサポーター(応援団)が興奮のあまり乱闘になることでも有名である。事前の対策も大変なもので、経費、労力とも想像がつかない。大勢の人が集まると、夢中になり、群衆心理もあってか、トラブルも起きやすいのである。なかには、乱闘を目的とした「フーリガン」と呼ばれるファンもいるようである。フィールドでのプレーにルールがあるように、観客席での応援にも当然ルールがある。モラルを持って応援し、警備に掛ける経費をもっと違う所に使いたいものである。世界中の人々が感動を共有し、歴史や言語、宗教の違いを超えて心を通い合わせ、人類の平和へとつながることを願いたい。



ふるさとへ想いを寄せる 「東京竜丘会」開く

遠く竜丘を離れて活躍している方々が集う「東京竜丘会」が、今年も大盛会でした。竜丘から参加したコーラスのグループの歌声に合わせて「旧竜丘小学校校歌」が高らかに歌われました。

去る四月十四日に第七回の『東京竜丘会』がありました。これは、東京とその近郊に住む竜丘出身の方々が集い、郷里を想い親睦を図ることを目的に行っている会です。

今年、明治神宮会館で行われました。郷里竜丘からは、毎回招待をうけて参加していますが、今年も自治会をはじめ東京の方々に関係ある団体の方二十六名と、竜丘コーラスの皆さん十七名が参加しました。

竜丘会の皆さんが百十七名も集まり、すばらしい会でした。

総会は、会長の木下長志さんの挨拶をはじめ、事業報告などが審議されたあと、来賓として郷里から参加した方たちが紹介されました。

来賓挨拶の中で、伊藤竜丘自治協議会会長が竜丘の地域の現状と発展の様子を話

し、続いて木下公民館長が公民館建設に寄せていただいた東京竜丘会の皆さんからの多額の寄付についてお礼を申し上げ、公民館の現状について説明しました。

総会後は、懇親会となり一同が賑やかに交流を深めました。そこで竜丘から参加したコーラスの皆さんが会場いっぱい美しい歌声を響かせ盛大な拍手を



第7回 東京竜丘会 総会・懇親会
平成14年4月14日

竜丘の古墳群を散策

せっかくウォーク開催される

清々しい五月晴れに恵まれた、四月二十九日「みどりの日」に、第十六回飯田やまびこマーチの環として「せっかくウォーク・竜丘古墳群散策」が行われました。やまびこマーチから引き続きの参加者二十四名を含め、地区内外から百五十名を超える参加者があり、和気あいあい楽しい一日を過ごしました。

桐林・上川路地区の古墳群の散策ということで、講師に竜丘古墳を考える会、竜丘史学会の方々をお願い

し、全体での出発式の後、三班に分かれて出発しました。竜丘公民館、塚原二子塚古墳、馬背塚古墳、御堂古墳、開善寺、考古資料館から竜丘公民館へ戻る全長八キロのコースを講師の説明を聞きながら歩き楽しみました。

塚原二子塚古墳では、点在する古墳を見て、このあたりが古代日本の重要な地域であったことを知り、また治水対策事業の現場を望み、変わりゆく竜丘の姿も見ることができました。

馬背塚古墳・御堂古墳では参加者が石室内に入り、その規模の大きさと素晴らしいさに感激しました。

続く開善寺では、牡丹や藤の花が、ちょうど見頃を迎えていましたので、その花が参加者の疲れを癒してくれました。

参加者は、この「せっかくウォーク」で、竜丘の自然・文化・歴史の素晴らしさを知るとともに、歩いた後の交流会で歩こう会の女性の方々が用意してくださったおにぎり・豚汁に舌鼓を打ち、人情味あふれるウォーキングとなりました。



受けました。コーラスの発表の中では、懐かしい「旧小学校校歌」「赤石の山燦たる陽」真向に受けて竜丘は...を声高らかに、そして「信濃の国」を会場いっぱい全員で歌いました。

竜丘会の皆さんが、郷里竜丘にいつまでも深い想いを抱いていらっしゃる様子を知り、いっそう郷里の発展に頑張らねばと一同胸に深く刻み、竜丘会の発展を祈って飯田に戻りました。

機会があれば、新しい公民館で「東京竜丘会」ができればいっそう郷里の華が満ちることだろうと強く感じました。

公民館の建設に際して、上川路の今村晴雄氏が風景画「山へ」(日本画)一〇〇号の大作を寄贈されました。今村さんは、信州美術会・南信美術会会員で日展に二回入選されている実力派で、主に自然を題材に絵を描かれています。

寄贈頂いた絵は、公民館へ入って左側(支所入口の上)に掲額してありますので、ご来館の折りに是非ご覧ください。

また、このご厚志に対し公民館管理委員会(伊藤隆直委員長)では感謝状を贈呈する予定です。



公民館へ絵画が贈られる

平成13年度竜丘公民館地区費決算報告

区分	行為NO.	項目	本年度決算額	本年度予算額	比較	説明	
歳入	1	前年度繰越	245,668	245,668	0		
	2	地区費	2,619,000	2,550,000	69,000	前期1,780戸×750円、後期1,712戸×750円	
	3	補助金	150,000	150,000	0	自治会・成人式(150,000円)	
	4	雑収入	121,902	332	121,570	祝儀、預金利息ほか	
		合計	3,136,570	2,946,000	190,570		
歳出	5	報酬	234,400	234,400	0	委員報酬地区費負担分	
	6	賃金	59,000	59,000	0	用務員賃金	
	7	交際費	54,707	60,000	-5,293	館長交際費	
	8	消耗品費	104,949	100,000	4,949	事務・事業用品	
	9	会議費	222,419	220,000	2,419	委員会等一部補助	
	10	食糧費	267,180	240,000	27,180	反省会等飲食代一部補助	
	11	修繕費	0	30,000	-30,000		
	12	維持・管理費	76,182	50,000	26,182	公民館清掃謝礼、大掃除費用ほか	
	13	通信運搬費	12,440	15,000	-2,560	郵送料	
	14	使用賃借料	50,000	50,000	0	貸し切りバス代	
	15	研修費	50,000	50,000	0	委員研修	
	16	負・補・交	351,000	351,000	0	団体負担金、各種大会参加補助	
		計	1,482,277	1,459,400	22,877		
	歳出	17	成人式	187,679	200,000	-12,321	記念事業、記念写真、祝賀会一部補助ほか
		18	運動会	318,077	400,000	-81,923	一部賞品代、用具、賞金ほか
		19	文化祭	276,140	200,000	76,140	各種借上料、消耗品費ほか
		20	体育大会	163,369	200,000	-36,631	分館参加賞、審判昼食代、用具代ほか
21		文化事業費	59,197	100,000	-40,803	くつろぎコンサート、ニューイヤークンサートほか事業費	
22		その他事業費	186,060	150,000	36,060	学級・講座、各種事業費	
		計	1,190,522	1,250,000	-59,478		
23		予備費	463,771	236,600	227,171	平成14年度4～7月運営費	
	合計	3,136,570	2,946,000	190,570			

差引残高463,771円は、平成14年度へ繰越し

平成14年3月31日 竜丘公民館長 木下長志

【監査報告】平成14年4月19日監査したところ、証書類等整理され適正なる処理がされていることを認めました。

監査委員

上條海八郎 塚平正廣

人事

支所長 伊藤 晃



公民館主事 出口 光利

新設した公民館が、地域の拠点とし機能し、また皆様が地域で楽しく潤いある生活を送れるよう公民館活動を皆さんと一緒に推進して参りたいと思っております。よろしくお願致します。



保健師 小林 洋子

皆様の健康づくりのお手伝い役として、一生懸命やりたいと思っております。気軽に声をかけてください。よろしくお願致します。



出納担当 今村 浩二

環境衛生組合、日赤奉仕団、青少年クラブの事務局担当の今村と申します。支所の仕事は初めてですが、一生懸命頑張ります。



転出

木下巨一さん(支所長)

飯田市民館へ新公民館や焼却場の立地や治水事業など、重要な課題の山積した時期でしたが、地域の皆様の教えで何とかなるをつとめさせていただきました。大変お世話になりました。

砂場幹雄さん(公民館主事)

飯田市民館へお世話様になりました。地域の皆様に支えられ、あっという間の四年間でした。公民館建設では貴重な経験をさせていただきました。竜丘の発展を祈念いたします。

西尾裕子さん(保健師)

今年の四月より、丸山地区へ異動となりました。竜丘での三年間、貴重な体験や思い出がで、皆様感謝しお礼申し上げます。

佐々木行博さん(戸籍担当)

教育委員会へ竜丘の皆様には大変お世話になりました。各種団体や公民館活動がとて盛んな地区で、勉強させて頂きました。